わらびじゅく
笑楽日塾だより

２０２３年１２月号
２０２３．１２．３１
第７０号
発行：笑楽日塾

笑楽日塾はＳＤＧｓを応援します。

塾長あいさつ　　荒井貞夫

インドネシア・感動の旅―2

12 月はいろいろな事が起きた。1 年を振り返ると自分の身の上にも良いことも良くないことも、予期しないことも、親友との分かれとか悲しい事もあった。そのことは笑楽日塾記念誌 6 号に書こうかと思っている。

技量も報酬も型破りのショータイムに空前の棋力で成し遂げた藤井聡太の八冠制覇のまぶしい笑顔など若い力が躍動する超明るいニュースの反対側に情けない政治の世界がある。裏金だとかキックバックだとか。私も知り合いから頼まれて政治資金パーティへ 3 回出たことがあった。いずれもパーティ券をもらって行ったのだった。美味しい寿司も、有名な団子屋の屋台もある。有名歌手が出る、あるときは横田滋さん夫妻が来られていた。派閥のトップが応援演説をする。持ち上げるのが上手い。

私の選挙区の代議士（自民党所属）は無所属で、彼は 12 月 11 日には次のように言っていた。
「派閥の政治資金疑惑。自民党の派閥が政治資金パーティの収入を収支報告書に過少記載したとして告発された問題。
自民党として、徹底的に実態を精査解明し、国民に明らかにしていかなければならない。うみを出し切るのだ。そして、総裁はじめ党としても処分を先立って断行する姿勢が必要となろう。さもなくば自民党は国民から見放されることとなろう。

私は初当選以来、新しい政治・新しい自民党を目指し、一貫して無派閥を貫いてきたが、今こそ、派閥解消をはじめ徹底した党改革の姿を示していかねばならない。それは、政権を預かる与党として、ひいては国家国民のために他ならない」。

日本のこんな嫌な世の中の他に、世界に目を向けるとイスラエルとパレスチナ/ハマスの戦争、ウクライナとロシアの戦争など私にはどうしようもない事が続いている。

憂さを忘れるには旅が良い。
先月はインドネシアへ行くまでの長い１日目の出来事を書いた。
今回は感動の２日目です。

2023 年 10 月 24 日 ジャカルタからマディウンへ 【感動の再会】

朝４時に起きて５時半にレストランで朝食、7 時半にホテルを出発しジャカルタ空港へ。ホテル代 18,000 円＋空港までの車 8,000 円。ジャカルタ空港発 8 時 55 分⇒Solo 空港着 9 時 55 分。Madiun の元秘書が手配してくれた車が待っていた。Madiun のホテルへ 12 時にチェックイン。車代 8,000 円。

まず向かったのは日本車両とインドネシア国営鉄道車輌製造会社（INKA 社）との合弁会社 REKA 社（2007 年まで 8 年間副社長をしていた）へ行った。昔の社員が成長していた。受注残が 2026 年まで 3 年分あると頼もしい説明を受けた。

その後、今回の旅の最大のクライマックスが待っていた。
元秘書がアレンジしたくれたジャワレストランへ。そこに秘書 Tika さん、女中 Minmin さん、門番 Heri さん（この二人は夫婦）とその娘と孫。
言葉もいらない感激の再会だった。ミンミンさんとヘリーさんは昔の事を篤く礼を言ってくれた。
沢山の礼を言うべきは私の方だったが。

まだ小学生だった女中さんの娘が中学・高校に入るときにお金を借りに来ました。
その子が結婚し、その子供が高校生になっていました。
私が帰国する時に、女中さんはお金を返したいと申し出てきましたが、私は「返さなくて良いよ」と言いました。

その時、彼女とその夫は跪いて涙を流していました。
私はたいしたことをした訳でもないのにこんなに喜んでくれるのかと思いました。
レストランで、ミンミンさんとヘリーさんはそのことを真っ先に話してくれました。また同席したその娘カリスアティが「あなたのお陰で今の幸せがあります」というので、私はまたまた嬉しくなりました。

16 年前の写真

ヘリーさんとミンミンさん

娘のカリスヤティ夫婦と長男

孫を抱くヘリーさん

ドリアン売りとランブタン売り

のどかな Madiun 郊外　馬車で移動

雨期の果物　マンゴスチン

ヘリーさん、ミンミンさん　その娘カリスアティと孫

感動の再会を果たして

こうして Madiun での感動の 1 日が終わりました。
明日 10 月 25 日は合弁会社の相手、INKA 社を訪問します。

＝＝＝＝＝続く＝＝2023 年 12 月 14 日記す＝＝＝＝＝

笑楽日塾12月 塾会報告

期 日 2023 年 12月14日 17時 30 分～19時30 分
会 場 スポーツクラブNAS蕨 5階ロイヤルルーム
出席者 八木、清藤、内田、高木、先崎、吉田、新井斉、星、新井(邦)、南、荒井 11 名
欠席者 荒川、菊地、長谷川

今年最後の顔の見える塾会となりました。
会場はスポーツクラブ NAS 蕨5階のロイヤルルーム、11 月 9 日に続いて、休館日に総支配人・森武大輔氏のご厚意により気軽に談笑する事が出来ました。

吉田さん・先崎さん・高木さん、南さんにお願いして16時45分に NAS へ集合し、マルエツへ寿司、コロッケ、春巻き、おつまみ(アーモンド・ピーナッツ)、柿の種、ビール・日本酒、ドライゼロを買いだししていただきました。
新井斉さんから純米酒の差し入れがありました。
17時40分に出席予定だった菊地さんへ2回電話した。本人が電話に出られたが話が通じず対応できず。

今年もあと半月あまりで暮れようとしている時期に、情けない政治の世界がある。裏金だとかキックバックだとか。そんな暗いニュースの正反対の側に、技量も報酬も型破りのショータイムに、空前の棋力で成し遂げた藤井聡太の八冠制覇のまぶしい笑顔など若い力が躍動する超明るいニュースがあって救われている日々です。

　あとで八木さんからお話がありますが、これから笑楽日塾記念誌 6 号の準備があります。
先月もお話しましたが、笑楽日塾はシニアの心地よい居場所になれば良い。
記念誌発行も 6 号の準備に入りますが、塾生へノルマを設けず気楽にやりたい。
今夜は忘年会です。皆様のご健勝を祈念して乾杯したいと存じます。

【今夜の話題－1】

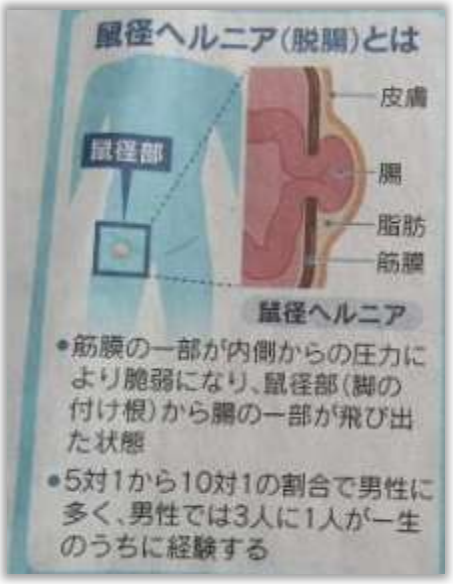
「脱腸―鼠径部ヘルニアの手術」（荒井貞夫）

　70 歳以上の男性の 1/3 ぐらいが脱腸になる。塾生では先崎さん、星さんが経験者。
最近、荒井が手術を受けたので、どんなことが起きたのか　話があった。
　11 月 28 日（火）信頼できる医者のすすめで市民病院・三室外科部長（戸田中央病院から来た人）に脱腸（鼠径部ヘルニア）の手術をお願いしました。
　「アレは外科の研修医が最初にやる手術で盲腸よりも簡単な手術だ」と聞いていたので安心していたのですが、一週間入院して 12 月 5 日（火）に退院してから一週間経っても手のひらぐらいの大きさで握りこぶしのように盛り上がっていて、出血が吸収されず血腫になって硬く固まってしまった。皮膚には皮下出血が広がって、黒紫色のおおきな痣になっています。痣は腰裏から背中、腿の付け根から膝裏まで広がっています。
　普通に戻るまでかなりの期間が必要なようです。私よりも 1 日後に同じ三室医師が脱腸を手術した川口の人（86 歳）は 3 泊 4 日で痛みも腫れもなく退院されました。
　私は偶々運が悪かったようです。心配なので他の医者に聞いてみました。

＊12 月 8 日（金）マンション 1 階の皮膚科の先生は 「これは時間がかかるよ。薬はないね」
＊12 月 9 日（土）近所の斉藤外科は：　「筋膜の内側へ 3cm ぐらいの大きさのメッシュ状の
　（プロピレンの）布を入れるがその縫い合わせに失敗したかな？　再手術もあり得るよ」

筋トレやゴルフはかなり先になるようです。
12 日（火）退院後の診察があった、手術後、15x10cmぐらいの絆創膏が傷跡に貼ってあった。
12 日朝はガーゼの半分ぐらいが血で黒くなっていた。
　医者はガーゼを剥がして、切り口を広げて押しながら黒い血を 5cc ぐらい出した。
消毒後、ガーゼと絆創膏を貼って診察終了。＊この腫れが悪化しないか、がん化しないか
「その心配は無い」「時間がかかる。金曜日 15 日に来てくれ」
約 20 分ゆっくり歩いて、家へ帰り昼食後みると、絆創膏が全面黒く血で覆われていた。
病院へ電話して、今度は歩きではなく車を運転して行った。
担当医は手術中で、看護師が絆創膏を外した。外したときに血が漏れてシーツを汚した。
消毒後、今度は絆創膏ではなく、大きなガーゼを幾重にもこんもりと当てて、その上を白いテープでおさえた　。
ガーゼが濡れるとまずいので、その夜は体を拭いただけ。シャワーも浴びられず。

12 月 13 日(水)
　今日も約 20 分歩いて病院へ行って、ガーゼを取替えてもらった。
今日の医者は担当医ではなかった。血腫が長さ 15cmx幅 3cmx太さ 3cm ぐらいの硬い棒状になっていて痛い。「これは大きな血腫だ」「針を刺したが、固まってしまった血は出てこなかった」
＊悪化することはないか、悪性腫瘍にならないか、ガン化することはないか
　「そのような事はない」「傷口から細菌が入らないように注意すること」
＊切開して血腫を取り除く事は出来るか
　「それは担当医の判断だ」
頼りない医者で癒えるまで辛抱・我慢が長く続きそう。もう 2 週間、ゴルフも筋トレを出来ず。
朝テレビ体操をやるだけ。



　(その後も快復は見られず。13 日、15 日、16 日、18 日病院へ行き、血に染まったガーゼを取替え。往復 1 時間半かかる。)この時間が俺にとっては大変なロス。

【2023 年を振り返り、来年に向けての希望や夢はなんですか？】

星さんから:

　最近、ライフ隣の新築マンション(100 戸)の管理人になった。ゴミ出しなど仕事がきついので「辞めたい」と申し出たら、「ナントカするから辞めないで」と引き留められている。
来年の事は考えていないが、この仕事を続けてみようと思う。

新井斉さんから:

　自己主張が強く、わがままな所もあるが、マンションの顧問契約を解約することにした。これまで 2 方面作戦でマンション管理業務と大規模修繕をやっていたが、マンション管理は辞めて、大規模修繕の仕事に専念したい。管理組合の仕事(顧問役)は勝手な要求が多く仕事がきつい。

高木さんから：
　独立して会社を経営している。いつか辞めるだろうが、無駄、無理はしないように心がけている。
16，000 円/月ネット通信代金を払っているが、これを解約する。約 20 万円節約出来る。倉庫を借りて物置にしている。捨てる物がいくつもしまってある。これからゴルフツアーの仕事はなくなるかもしれない。ゴルフ機構の組織・人事が絡んでいる。

先崎さんから：
　退職してから街歩きをしている。水辺のあるところが好きだ。横浜、武蔵野など 2 ヶ月に一度ぐらいの割合で、親しい友人と楽しんでいる。これからも卓球とスキーは続けるつもり。
ぼけないように、来年も地域でボランティアを続けたい。
クロスワードなどボケ防止も楽しんでいる。

八木さんから：
　今年は 10 月頃からメチャクチャ忙しかった。月に 2～3 日しか自由時間が取れない。
シルバー人材センターの理事もやっている。自分の理想の老後とは違う生き方をしている。
もっと自由に過ごしたい。読みたいものを好きなだけ読みたい。
　普段は毎朝散歩しながら五感を研ぎ澄まして、自然の移ろいを感じながら、感性を磨いている。
来年は月1回の美術館、博物館巡りや家族と自分のために時間を有効に使いたい。

内田さんから：
　今年は忙しかった。シルバー人材センター、市民ネット、パソコン支援隊、マンションの役員など忙しかった。マンションの役員は自分で後任者を探す決まりで、理事長をやってきたが、今度は副理事長になった。役員の引き受け手がいなくて困っている。忙しさでストレスがかかると病気（パーキンソン）の進行が早まる。薬も効きにくくなる。適度なストレスならば良いが。何でも頼まれると引き受けてしまう。
埼玉県パーキンソン病友の会の副会長もやっている。来年も忙しそうだ。

南さんから：
　退職して 5～6 年、毎日歩いている。車に乗らなくなった。今年は 3000km/年ぐらいしか乗っていなかった。いつも女房と一緒。京都へ行った。紅葉が緑に映えてなんとも言えない素晴らしい時間を過ごした。
これからも二人であちこち出かけたい。

吉田さんから：
　今年は、なんと行ってもタイガースの優勝の年だった。
能率協会の手帳を使っている。元日に目標を書く。今年はゴルフ 21 回。先週ベストスコア 38 がでた。
元会社の人たちと高崎へ毎月 2 回行く。他の 3 人は 85～86 で回る上級者。色々なアドバイスを受けてきた。それを月・火・水・金の毎週 4 回練習場で生かすようにしている。
　来年も女房に優しく、孫にお小遣いを上げて家族で楽しく過ごしたい。
マンションや町会の仕事も沢山あるが、自分の生き甲斐としてこれからもやっていく。

新井邦夫さんから：

皆さんのお話をお聞きして、「塾生は優秀な人ばかり、よくこれだけの人材が集まったな」と感じている。第１の人生が終わってから第２の人生に入って 15 年経った、地域活動を支えて、小学校で子供達の面倒を見てきた。これから第３の人生・自分の生活に重心を移して穏やかに過ごしたいと願っている。しかし、簡単に第 3 へ移れない。町会の活動を支える人材が不足している。このまま投げ出すわけには行かない。土橋４町会が、一つのイベントは一つの町会に任せられないか検討したい。
若い人が町会に入ってこない、若い人が集まってこないのが悩みだ。原因は何だろうか。シニアが元気すぎるからか。
今年の反省はない。自分は常に 120%の力を発揮していると自負している。

清藤さんから：

今年はいい年だった。自分で反省するような失敗はなかった。塾生の皆さんが誘ってくれるのが嬉しい。 今年は金沢や京都へ行った。
きのう平林寺へ行った。「島原の乱」の碑があった。
来年も皆さんの話題について行けるように学んで行きたい

荒井から：

蕨駅西口再開発事業が 1 月から始まります。私は今、新築工事の作業車両の出入りで交通事故が起きないように、地域の安全確保のために建設会社と交渉しています。既に毎日トレーラーで厚い鉄板を運び入れています。11 月 27 日(月)工事説明会が、くるるでありました。駅へ行く道路の拡幅や曲がり角の透明化などを申し入れたところ、12 月 12 日(火)から道幅を 1m広げる工事を始めました。

吉田さん、高木さん、先崎さんなどの声を前田建設へぶつけた結果、直ぐに着手してくれました。前田建設とは安全確保のために良好なコミュケーションを保っています。2025 年～2026 年頃は最大 500 人の作業者が働きます。完成は３年半後 2027 年７月です。

今年は 1 月から 11 月までテレビ出演、蕨駅開業 130 周年記念事業、インドネシア旅行、ゴルフで Age Shoot 達成など本当に充実したよい年でした。このまま 12 月も終わるかと思っていた矢先に手術で失敗。(手術後 3 週間経っても、未だに疼痛と出血、皮下出血跡が有り、診察とガーゼの取替えを 12 月 18 日にやって貰った)。

菊地正浩 様へ

菊地さんは８月 10 日、12 月 14 日の２回出席と連絡がありましたので飲食物を菊地さんの分も買いました。菊地さんから「事前に欠席の連絡はございませんでした」。会費 1, 500 円x2 回分＝3, 000 円が塾会計の損金になるので菊地さんに２回分 3, 000 円お支払いをお願いしたい。

次回は１月 11 日(木)です。
17 時 30 分から NAS で開催します。

「シニアの風」

（順番制で行います。来年1月号は新井斉さんですので準備の程、宜しくお願い致します。）

「仙台・松島の旅」

塾生　先崎　隆

晩秋の11月末、大人の休日倶楽部を使って、秋田と宮城の旅に出かけた。日本海側の秋田は雪混じりの気候でしたが、市内にある佐竹氏の久保田城址（現在は千秋公園になっている）と別邸如斯亭（日本庭園）を散策して来た。翌日、新幹線で宮城に移動、仙台城跡（青葉城）と松島の島巡り・瑞巌寺へと観光、秋田とはうって変わって2日間とも穏やかな日に恵まれ、のんびり、じっくりと旅が出来た。

今回のシニアの風では、「仙台・松島の旅」ということで、報告する。

伊達政宗公騎馬像

木丸から市街と海を望む

土井晩翠銅像

脇櫓

仙台に11時頃着くと早速、地下鉄に乗って仙台城に向かった。途中銀杏が美しい二の丸公園や脇櫓、本丸北壁石垣を見ながら30分ほどで、標高130mの本丸まで歩いて登った。

仙台城は、初代仙台藩主伊達政宗によって造営され、慶長7年(1602)には一応の完成をみた。城は、東と南が広瀬川と滝の口渓谷の断崖、西が険しい山に囲まれた天然の要害で、石垣は主に本丸の周りに築かれた。城下を見渡す伊達政宗公騎馬像や復元された脇櫓、石積み技術の高さが本丸北壁石垣に残っている。

城は、将軍徳川家康の警戒を避けるために、あえて天守閣は設けなかったといわれている。残念ながら今では城は消失し、再建された脇櫓が残っているだけである。

周囲には仙台ゆかりの詩人、土井晩翠の文学碑もあり、2003 年夏、国の史跡指定を受けている。晩翠銅像前では「荒城の月」の自動演奏が 9:00～18:00 までの 30 分ごとに流れる。12時30分に曲が流れていたので聞いていると高校生の子どもたちも集まってきた。

作詩者である土井晩翠は、仙台市の青葉城址と会津若松市の鶴ヶ城址をイメージして詩を作くったが、滝廉太郎は、大分県竹田市の岡城址をイメージして作曲した、ようである。

下山の途中に小さな沼(五色沼)があり、その前の看板に日本フィギュアスケート発祥の地と記されていた。第二高等学校の生徒がドイツ語の教師からフィギュアスケートの指導を受けたようだ。

松島は日本三景の一つで丘陵が沈下し、海水が流れ込んで頂上部分が島となった。松島湾には260余りの島があり、牡蠣の養殖が盛んに行われている。

この日は穏やかで波もあまりなく、大型遊覧船日和だった。乗船して、約1時間かけて湾内を1周した。走っていると少し寒かったが、甲板に出て移り変わる景色に感激、アナウンスが流れるたびにカメラのシャッターを切り、島の写真を撮った。さすが日本三景！！！

下船をすると松島三つの赤い橋の一つ福浦島に渡った。福浦島を結ぶ252mの朱塗りの橋「福浦橋」は、素敵な縁に恵まれる「出会い橋」と言われているようだ。橋を渡った先には、県立自然公園「福浦島」がある。島には、アカマツやスギ、モミなど300種を超える植物が自生している。茶店でのんびりと店員のおばちゃんとお話しを楽しみながら善哉を食べた。その後、島内を50分ほど散策、紅葉のトンネルが眩しいほどきれいだった。

第二の赤い橋は松島遊覧船乗り場の近くに浮かぶ小島に掛かっている。小島には五大堂が建っており、多くの人が小さい島に観光をしていた。

五大堂は平安時代にあたる大同２年（807）、東北征討のため訪れた征夷大将軍・坂上田村麻呂が建立した「毘沙門堂」が、始まりと伝えられている。その後天長五年（828）、慈覚大師・円仁が五大明王像を安置したことから「五大堂」と呼ばれるようになった。

最後に、天長5年（828）慈覚大師の開創と伝えられる瑞巌寺を見学した。鎌倉期に臨済宗の禅寺となった。藩祖伊達政宗は慶長9年（1604）伽藍の造営に着手、5年の歳月をかけ慶長14年（1604）に完成した。国宝の本堂、庫裏、御成玄関、廊下、それに重要文化財の御成門、中門、太鼓塀など桃山時代の代表的建造物になっている。1620年から1622年にかけて本堂の各室を飾る障壁画の制作が行われた。

本堂外観は質素な和様であるが、内部の彫刻・彩色・金具、大小 161 画の襖絵障壁画は、仙台藩お抱え絵師によって描かれ、庫裡の豪華な妻飾りは、豪華絢爛たるものだった。

※襖絵障壁画は「室中（孔雀の間）絵師　狩野左京」「仏間　絵師　狩野左京」「文王の間　絵師　長谷川等胤（とういん）」「松の間　絵師　狩野左京一門」「鷹の間　絵師　狩野左京弟子九郎太」「菊の間　狩野左京一門」

※堂内は写真撮影が禁止のため「室中（孔雀の間）絵師　狩野左京」はパンフレットを写真に撮って張った。

完

編集後記

八木　守

2023年を振り返ってみますとコロナ禍がようやく終息しつつあり、笑楽日塾もリアル塾会になり徐々に平常に戻ってきたのは嬉しいかぎりです。

しかし、世界情勢を見てみますとロシアのウクライナ侵攻は終息する気配すらなく、2023年パレスチナ・イスラエル戦争は、10月7日にパレスチナのガザ地区を支配するハマース（ハマス）によるイスラエルへの攻撃によって勃発した。また北朝鮮も何をしようとしているのか？
狂人政治家の思い込みと思惑の結果、いつの時代も無辜（むこ・罪のない）な一般市民や何も出来ない子どもたちです。人は愚行の歴史から何を学んだのか？

2024年の干支は「甲辰（きのえ・たつ）」で、「甲」は優勢であることを表す他、まっすぐに堂々とそそり立つ大木を表しており、「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍（竜）を意味するそうです。
水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。
この2つの組み合わせである甲辰には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しているといえそうです。
そのような縁起の良い2024年を笑楽日塾の皆様と平和で健康に過ごせるように2023年年末に祈念しまして2023年最後の編集後記として記しました。よいお年をお迎えください。